

共和会で活躍されるボランティアの方々

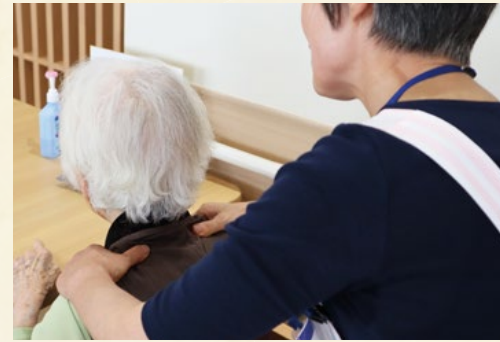
1983年ごろより地域のボランティアを積極的に受け入れています。
30年以上前から、地域に根づくボランティアの方々と協働する「地域づくり」の歴史がここにあります。



話し相手や手工芸活動を提供する地域ボランティアの方々の様子(1990)

ハンドマッサージ

●第2、第4金曜日 …………… 伸寿苑



ひまわり

●月、水、金曜日
●南小倉デイケアにてお茶の配膳等



周望学園花の会

カフェ周りの花壇の整備、
病院ルーフガーデンの花の整備



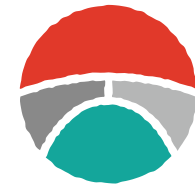
ちぎり絵

●毎週月曜日
●伸寿苑にてちぎり絵教室



折り紙

●第1、第3木曜日 …… 伸寿苑デイケア
●第4金、土曜日 …… 南小倉デイケア



出番や役割のある暮らし

人生100年時代を見据えて

医療の発達、栄養状態や衛生環境の改善などによって、人生は100年時代を迎えています。ひとりの人間の人生が100年続くとしたとき、働き方や生き方はどのように変化させるとよいのでしょうか。

今回はその一例として「ボランティア」にスポットを当て、当法人内で活躍されるボランティアの方々をご紹介します。生きがいや楽しみのある生き方をしている方から学びつつ、当法人とボランティアの方々の歴史にも触れていきます。

contents

P03

古今共和会話

P01

出番や役割のある暮らしを考える

P02



interview

出番や役割のある暮らしを考える ボランティア活動を通して

Q. 活動を始めてどのくらいになりますか？

30年以上になります。小倉リハビリテーション病院で開催している「おやつ会」は、おかげさまで200回を超えました。来て下さる方の嬉しそうな顔を見たり、優しい言葉をかけてもらうことで、いつも励まされています。

Q. 活動で工夫していることはありますか？

自分自身が高齢者（年齢は内緒です♥）だからこそ、患者・利用者の気持ちを想像しやすく、ニーズに合わせて活動できていると感じます。また、活動内容は必ず振り返りをしています。より参加者が楽しめるような内容に変化させるよう気を付けています。



Q. ボランティア活動の意義はなんですか？

ボランティア活動は、自分自身が楽しむことが1番大切だと思います。ボランティアは、私の生きがいです。長年歌の活動に参加してくれている利用者さんが、「この活動のお陰で声がよく出るようになりました」と言ってくれました。そういった患者様・利用者様の変化の一因になれることが1番の喜びです。

Q. 活動のポイントを教えてください。

おいしいお茶やお菓子を提供し、おもてなしを受けることで、入院生活の中で「ホッ」とできる時間・空間作りができますよう努力をしています。今は、季節感を感じてほしいと考え、花を活けたりもしております。ボランティアとして会場に来ることができないメンバーもいますが、その方々からお花を頂いています。たくさんの方のご支援があり、この活動が成り立っています。



いろはクラブ 藤原 綾子さん

「行かせていただいている」という感謝の気持ちを常に感じています。

Q. どうして活動を続けられるのですか？

ボランティアに関わることで何か思いついたときはすぐに行動しています。今のところ、私は元気に活動していますが、年齢的にいつ何が起きてもおかしくありません。「今日できることは今日やろう」をモットーに日々活動しています。

Q. ボランティア活動の意義はなんですか？

活動を通してボランティアスタッフの側が、エネルギーをもらっています。「行かせていただいている」という感謝の気持ちを常に感じています。この「いろはクラブ」が生きがいであり、憩いの場所です。

Q. 今後の展望を教えてください。

フットワークよく動くのは大切ですが、あくまでボランティアですから、他のボランティアの方の重荷になったりしないよう、謙虚な気持ちを持つことを常に意識しています。



自分自身が楽しむことが1番大切
ボランティアは、私の生きがいです。

歌唱クラブ
「ひとつぶの麦」
石渡 弘子さん

